

⑧旧女川交番（女川町）

【施設概要】

H26. 12. 18 現在

施設名	旧女川交番
所在市町	女川町
規模・構造	昭和55年に建設，鉄筋コンクリート造2階建て
所有者	施設所有者：県（警察本部） 土地所有者：県（警察本部）
被災状況等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女川町を襲った津波の最大波は14.8メートルに達した。（港湾空港技術研究所調査）</li> <li>・女川交番に勤務していた2名の警察官は，大津波警報発令後，パトカーから避難を呼びかけるとともに，逃げ遅れた町民を乗せて高台を目指していたため難を逃れたため，当施設での直接的な犠牲者は出ていない。</li> <li>・交番は，津波の引き波により，元の位置付近で横倒しになった。建物上部に漂流物による損傷等が残るほか，基礎部分の杭が引き抜かれているところを見ることができる。</li> <li>・現在，満潮時には30センチメートル程度浸水をする。</li> <li>・県警察の施設では，2つの警察署と25の交番及び駐在所等の施設が津波による流出，損壊等の被害を受けたが，多くが解体撤去または修繕により継続使用されており，被災後の状態を残しているのは当施設のみである。</li> </ul>
市町の検討状況等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女川交番のある区域は，観光交流エリアとして造成されることが予定されており，嵩上げ工事は平成29年頃となる見込みである。時間的な余裕もあり，まちづくりへの支障は少ない。</li> <li>・町では，現地保存する方向で既に具体的な検討に入っている。</li> <li>・県警では，女川交番の保存について，町からの具体的な相談等に対応していく考えであるとのこと。</li> </ul>
地元の意向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存に対する反対意見なし</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町では，現地保存と3Dデータの活用の両方について検討する予定である。</li> <li>・県警察では，避難広報や避難誘導中の警察官14名が津波の犠牲となったことを受け，警察官自身の安全を確保しつつ，効果的な避難誘導活動を行うための行動ルールを定めた津波避難誘導マニュアルを策定，実践的な訓練を行っている。</li> </ul>



旧女川交番

震災遺構の評価検討シート

対象施設	旧女川交番
------	-------

【重要度の評価】 ※現地保存を前提として評価

意義	項目	評価の観点	評価意見
② 災害文化の伝承	破壊力の痕跡	津波の破壊力を示す痕跡が残されているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄筋コンクリート造の建物が津波で被災したというのは日本では初めての事例であり、また、大規模な津波で倒壊、転倒したという事例は世界的に見ても少ない。</li> <li>小規模かつ単純な構造であることから、一見ただけで被災状況がわかるという点で、専門家はもちろん、広く一般にとっても貴重である。</li> </ul>
	教訓	どのような教訓を導き出し得るか	<ul style="list-style-type: none"> <li>津波への恐怖感をまざまざ感じさせる物件であり残すことが、教訓になる。</li> <li>建築学会において、津波に対しての構造設計法、特に浮力に対する構造基準が作られており、津波避難ビル等を今後どのように設計するかということについて、大きな教訓を与えてくれる。</li> </ul>
	発信力	発信力があるかまたはその可能性があるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築の構造技術者等の関係者にとっては、非常に貴重で関心の高いものである。歴史的にも価値が高い。</li> <li>町内で同様に転倒した他の建物の被災状況や、被災前の状況も分かるように展示するなど、合わせて情報発信することで、発信力が一層高まる。</li> </ul>
① 鎮魂	鎮魂	鎮魂の場としての性格を有するかまたはその可能性があるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>交番での直接の犠牲者はないが、周辺、町全体では多くの人が犠牲になっている。そのような説明も加え、町の象徴的な遺構となれば、町全体の鎮魂の場になる可能性があり、外から来た人にとってもそのようになると考えられる。</li> </ul>

★ 総合評価 ★

1	震災遺構として、ぜひ保存すべき価値がある	○
2	震災遺構として保存する意義は認められる	
3	上記1,2以外のもの	

【意見】

鉄筋コンクリート造の建物が津波の引き波で横倒しになった事例として、希少性が高い。

その他

- 鉄筋コンクリート造であるため、比較的保存がしやすい。
- 周辺を公園として整備するとされているが、美しく残すことにきめ細かく配慮することで、保存する価値は高まると考えられる。
- メモリアル公園内に震災遺構として保存されることで、土地利用を阻害しないことや、情報発信に有効であるとの評価もできる。
- 遺構を見るのは辛いという人もいるので、その心情にも配慮があると良い。